

がんに関する教育の推進について

- 1 国が定めた「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針（平成 30 年 7 月 31 日）」に、「がん教育について、当該医療圏における学校や職域より依頼があった際には、外部講師として医療従事者を派遣し、がんに関する正しい知識の普及啓発に努めていることが望ましい。」との指定要件があることなどから、各がん診療連携拠点病院等におかれましても、がん教育の推進に努めておられることと存じます。
- 2 このたび、がん教育を所管する兵庫県教育委員会事務局体育保健課から県疾病対策課に、「がん教育に関する外部講師のリスト化に協力いただきたい」旨の依頼がありました。
- 3 県としては、法律や条例等にごがん教育の推進を謳っていることから、外部講師のリスト化に協力することとしました。
- 4 後日、県疾病対策課から各がん診療連携拠点病院等へ、外部講師候補者の選出に関する照会文書を発出する予定です。
- 5 各がん診療連携拠点病院におかれましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、ご理解、ご協力を賜れば幸いです。

令和元年度 都道府県がん診療連携拠点病院 PDCA サイクルフォーラム（報告）

1 日 時

令和 2 年 2 月 8 日（土） 13:30～17:00

2 場 所

国立がん研究センター築地キャンパス 研究棟大会議室

3 開催目的

がん診療連携拠点病院のがん医療の質を向上することを目指し、都道府県内の PDCA サイクル確保に資する情報共有の場として本フォーラムを開催する。

4 他府県の事例

都道府県名	事 例	内 容
神奈川県	がん薬物療法レビュー	○平成 29 年 11 月 神奈川県がん診療連携協議会に「がん薬物療法部会」を設置 ○平成 30 年度 がん薬物療法レビュー活動開始 ○これまで 6 施設でレビューを実施
山口県	緩和ケア部会レビュー	○平成 30 年度 緩和ケアチーム研修会で、レビューの実施方法を協議 ○平成 31 年 1 月 21 日（月）山口大学医学部附属病院において、緩和ケア提供体制に関するレビューを実施 ○平成 31 年度は B 病院で実施
千葉県	PDCA サイクル専門部会	○千葉県がん診療連携協議会に「PDCA サイクル専門部会」を設置 ○「PDCA サイクル専門部会」が、他の部会に対して、県単位の PDCA サイクルを回すことを求め、実施状況を把握
愛知県	がん診療連携協議会	○愛知県がん診療連携協議会 PDCA 部会が、PDCA サイクル標準化（雛形）の取り組み

令和元年度がん教育総合支援事業
第４回がん教育に関する協議会

令和２年１月２７日（月）１３：３０～
県民会館７階「亀」

次 第

- １ 開 会
- ２ 報告事項
令和元年度がん教育総合支援事業 報告
- ３ 協議事項
 - （１）令和元年度成果と課題について
 - （２）令和２年度がん教育総合支援事業について
 - （３）その他
- ４ 閉 会

○がん教育に関する政府と文部科学省のスケジュール

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
政府	がん対策基本法（平成28年12月16日改正）※新たにがん教育について記載 第二十三条 国及び地方公共団体は、国民が、がんに関する知識及びがん患者に関する理解を深めることができるよう、学校教育及び社会教育におけるがんに関する教育の推進のために必要な施策を講ずるものとする。					
	第3期がん対策推進基本計画【平成29年度～平成34年度までの6年間】 （平成29年10月24日閣議決定） 【個別目標】 国は、全国での実施状況を把握した上で、地域の実情に応じて、外部講師の活用体制を整備し、がん教育の充実を図る。					
文部科学省	がん教育の実施状況に関する全国調査 ◆新学習指導要領に対応したがん教育の普及・啓発 ◆地域の実情に応じたがん教育の実施 ＜取組例（平成30年度実施予定）＞ ○新学習指導要領及びそれぞれの地域の実情に応じたがん教育の取組を支援。 ・がん教育総合支援事業の実施〔委託事業〕 ○新学習指導要領を踏まえた教員や外部講師の質の向上。 ・教員、外部講師に対する実践的ながん教育研修会の実施 ○先進事例の全国への普及・啓発。 ・先進事例の紹介等を行うシンポジウムの開催					
	学習指導要領改訂関係（予定）					
	小学校	周知・徹底	先行実施	全面实施（平成32年度～）		
	中学校	周知・徹底	先行実施	全面实施（平成33年度～）		
	高等学校	改訂	周知・徹底	先行実施	年次進行で実施（平成34年度～）	

医師やがん経験者等を外部講師として活用し、
がん教育のさらなる充実を図る

がん教育について

定義	がん教育は、健康教育の一環として、がんについての正しい理解と、がん患者や家族などのがんに向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る教育である。
目標	(1) がんについて正しく理解することができるようにする。 がんが身近な病気であることや、がんの予防、早期発見・検診等について関心をもち、正しい知識を身に付け、適切に対処できる実践力を育成する。また、がんを通じて様々な病気についても理解を深め、健康の保持増進に資する。 (2) 健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする。 がんについて学ぶことや、がんに向き合う人々と触れ合うことを通じて、自他の健康と命の大切さに気づき、自己の在り方や生き方を考え、共に生きる社会づくりを目指す態度を育成する。
目的	学校における健康教育の中で、がんそのものやがん患者に対する理解を深めることが重要である。そのため、学校教育活動全体の中で、がん教育を推進することにより、がんやがん患者に対する正しい理解と認識を学び、 <u>命の大切さに対する理解を深化させるとともに、自らの健康を適切に管理し、がん予防や早期発見につながる行動変容を促す。</u>

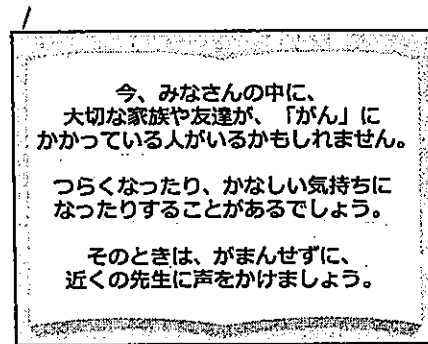
学校 教育活動 全体での 推進	★小学校での目標★	★中学校での目標★	★高等学校での目標★
	生命がかけがえのないものであることを知り、今ある命を大切に精一杯生きようとする心情を育てること。	がんについて関心をもち、がんの疾病概念や予防等について正しい知識と、自ら健康的な生活を実践しようとする態度を身につけること。	がんについて、課題の解決に役立つ基礎的な事項及び、それらと生活のかかわりを理解すること。
	① 保健・保健体育（新学習指導要領 小学校R2～ 中学校R3～ 高等学校R4～）		
	6年・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 6年・地域の様々な保健活動の取組	2年・生活習慣病などの予防 2年・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 3年・個人の健康を守る社会の取組	び入 次学 の年 次及 ・生活習慣病などの予防と回復 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ・様々な保健活動や社会的対策 ・健康に関する環境づくりと社会参加
※上記の学年・項目は、主としてがんについて関連する内容が記載			
② 特別活動・総合的な学習などの時間			
外部講師による講演会			

教材・指導参考資料	小学校	中学校	高等学校
	文部科学省 がん教育推進のための教材参考資料(http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1385781.htm)		
	(1) 補助教材：教師用指導参考資料 (2) 映像教材 ①がん博士の「がんについての基礎知識」 ②「がんと生きる」 エピソード1：がん経験者男性 エピソード2：がん経験者女性 (3) ワークシート	(1) 補助教材：教師用指導参考資料 (2) スライド教材 ①モジュール1：がんという病気【15スライド】 ②モジュール2：日本のがんの現状【12スライド】 ③モジュール3：がんの発生と進行【16スライド】 ④モジュール4：がんの予防【13スライド】 ⑤モジュール5：検診の意味【12スライド】	⑥モジュール6：がんの治療で大切なこと【11スライド】 ⑦モジュール7：がん治療の支援【14スライド】 ⑧モジュール8：がん患者のおもい【6スライド】 ⑨モジュール9：がん患者とともに生きる社会【13スライド】
	兵庫県教育委員会 がん教育に関する協議会で外部講師向け教材を検討中		
(1) 基礎編		(1) 基礎編	○ 基礎編
(2) 発展編		(2) 発展編	

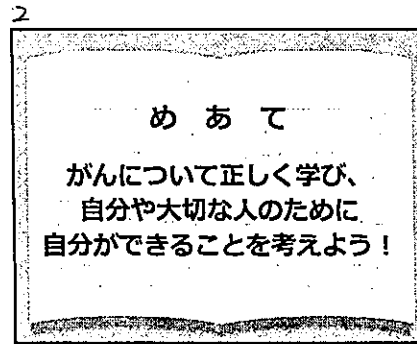
※ 学校の実態や講演内容により、適宜、上記の映像教材やスライド教材等を追加可能。

※ 講演内容については、学校が主体となり、外部講師と必ず打合せを行い決定する。

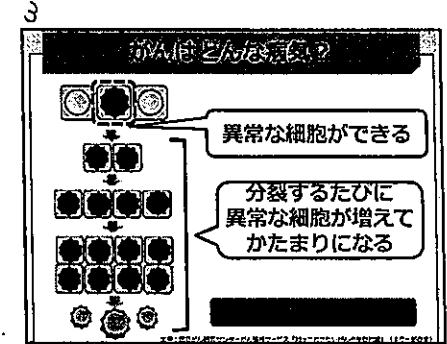
小学校 (案) 1/3



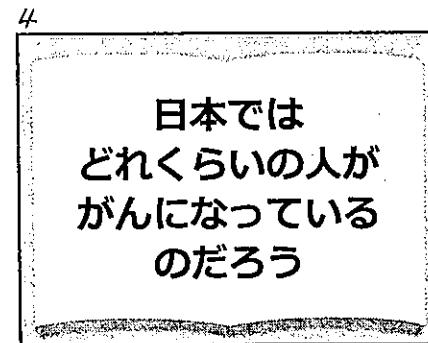
No. 1



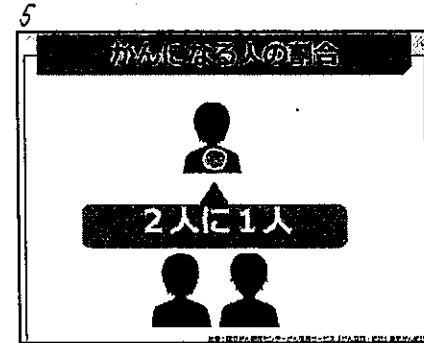
No. 2



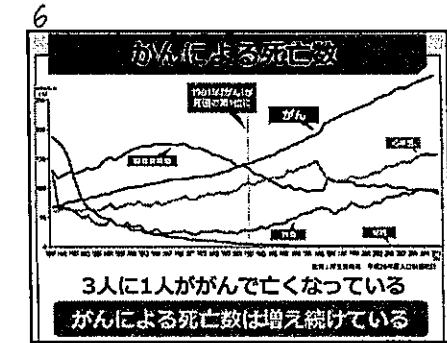
No. 5



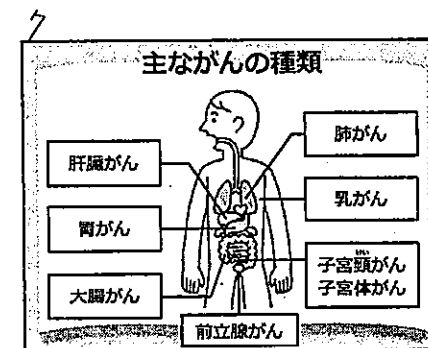
No. 21



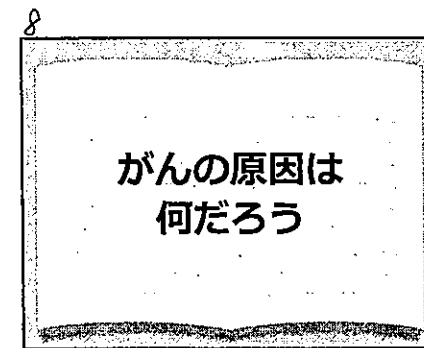
No. 22



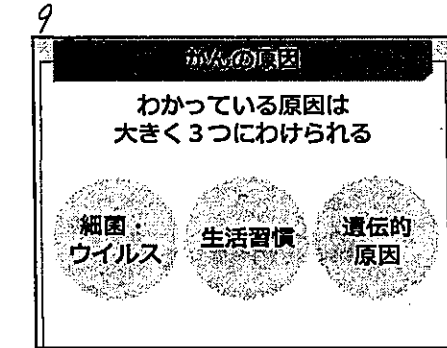
No. 23



No. 43



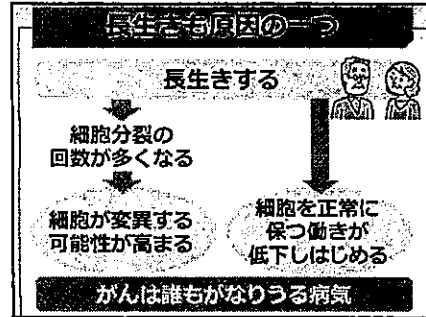
No. 9



No. 12

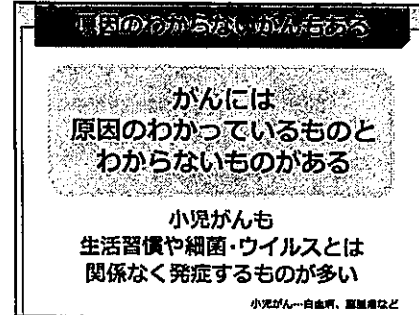
小学校 (案) 2/3

10



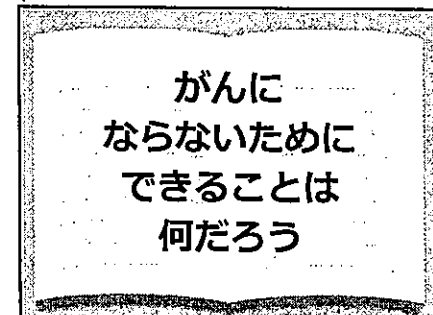
No. 13

11



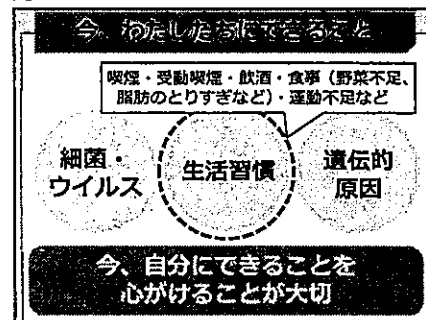
No. 14

12



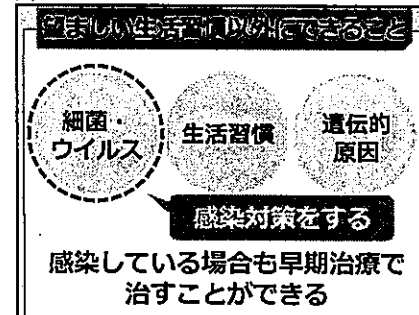
No. 49

13



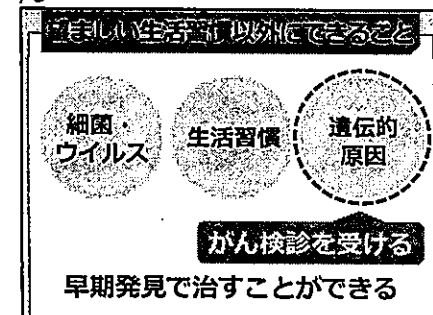
No. 16

14



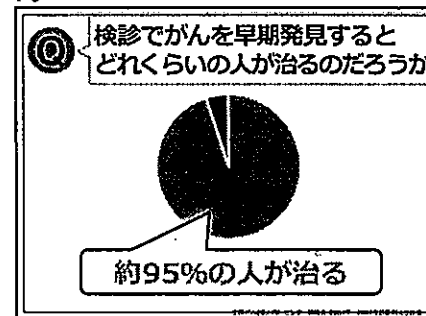
No. 55

15



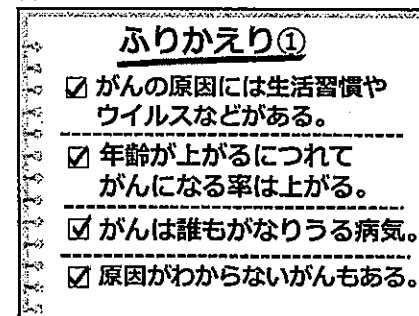
No. 56

16



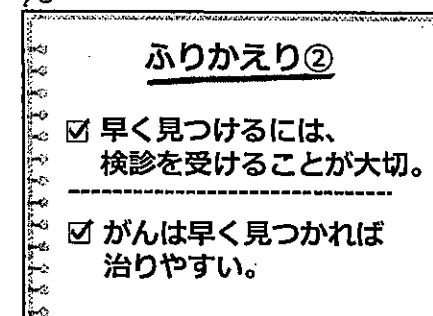
No. 61

17



No. 18, 31, 32, 19

18



No. 67, 66

小学校 (案) ⅓

19

がん患者は何を望み
何を求めているの
だろう

No. 95

20

家族や友人に
これまで通り
接してほしい

がんを
正しく理解
してほしい

がん患者には
さまざまな願いがある

No. 104

21

がん患者の「生活の質」

一人一人の生き方が
異なるように
がんへの向き合い方も
人それぞれ

自分らしく生きられるよう
生活の質 (クオリティ・オブ・ライフ)
の維持・向上が大切

No. 98

22

がん治療に必要な支援

体
の痛み



体が痛くてつらい

がんを取り除くだけでなく、
薬で痛みをやわらげ、
その人らしい生活を
送れるようにします。



No. 84

23

がん治療に必要な支援

心
の痛み



将来のことが
不安で眠れない

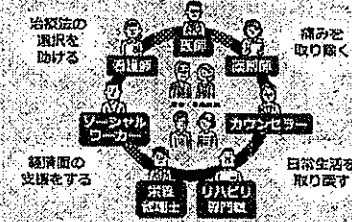
患者さんの不安に
耳をかたむけ、
前向きに人生に向き合う
お手伝いをします。



No. 85

24

それぞれの分野の専門家が
チームで患者とその家族を支援



No. 87

中学校 (案) 1/5

1

今、みなさんの中に、大切な家族や友達が、「がん」にかかっている人がいるかもしれません。

つらくなったり、かなしい気持ちになったりすることがあるでしょう。

そのときは、がまんせずに、近くの先生に声をかけましょう。

No. 1

2

がんのしくみ

わたしたちの体の細胞は毎日分裂し新しくなっている 約37兆個

細胞分裂するとき **変異** が起こることがある

No. 6

3

変異した細胞はどうなるのだろうか

正常に修復 変異した細胞 排除

修復や排除により正常に保たれるしくみがある

No. 7

4

修復のしくみが働かないとき

異常な細胞ができる

異常な細胞が増えてかたまりになる

周りに広がりやすくなり血管などに入り込んで全身に広がる

No. 8

5

細胞が分裂するすべての臓器にがんができる可能性がある

食道がん 甲状腺がん 胃がん 肺がん 肝臓がん 乳がん 胆のうがん 子宮頸がん 大腸がん 前立腺がん ぼうこうがん 膵臓がん

細胞が分裂するときの変異によりがん細胞ができるから

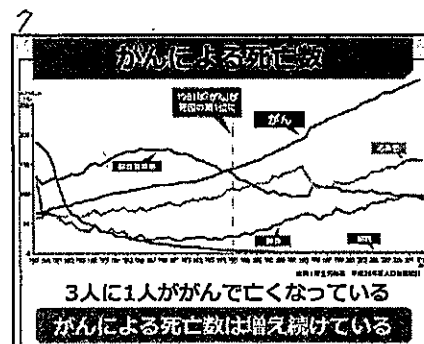
No. 34

6

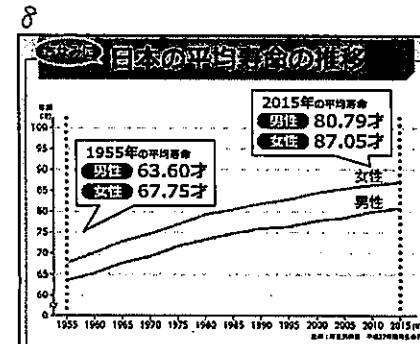
がんになる人の割合

2人に1人

No. 22



No. 23



No. 25

9

長生きとがんとの関わり

長生きする

細胞分裂の回数が増える

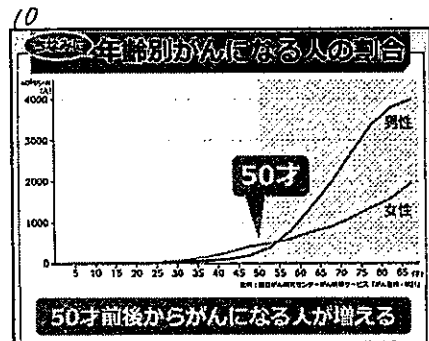
細胞が変異する可能性が高まる

細胞を正常に保つ働きが低下し始める

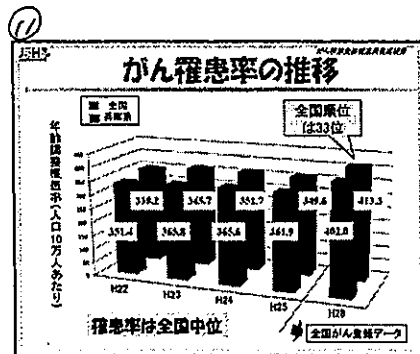
がんは誰もがなりうる病気

No. 27

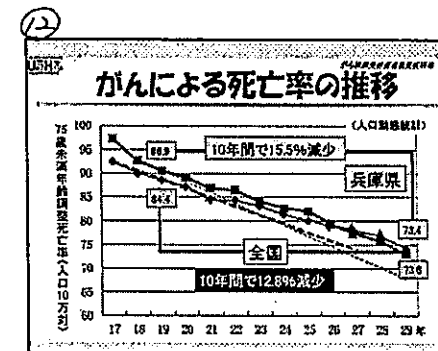
中学校 (案) 2/5



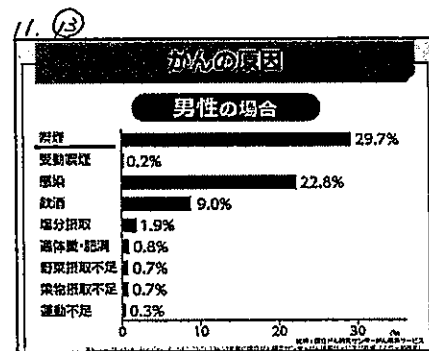
No. 28



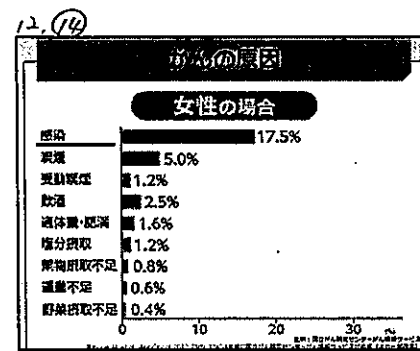
No. 112



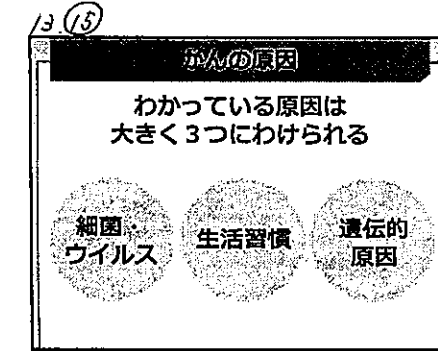
No. 113



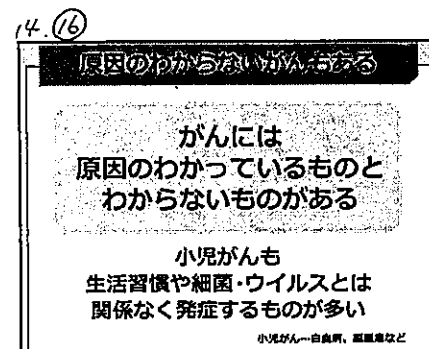
No. 10



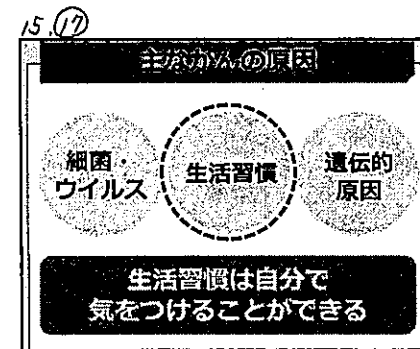
No. 11



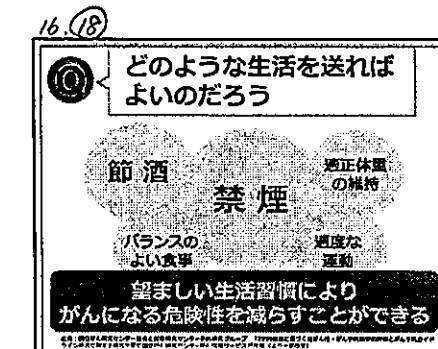
No. 12



No. 14



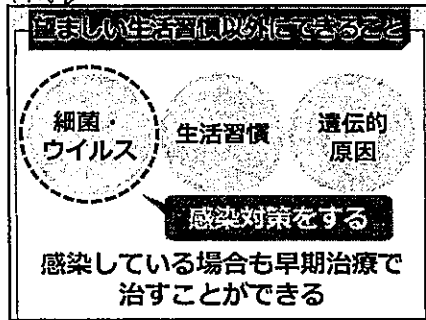
No. 50



No. 51

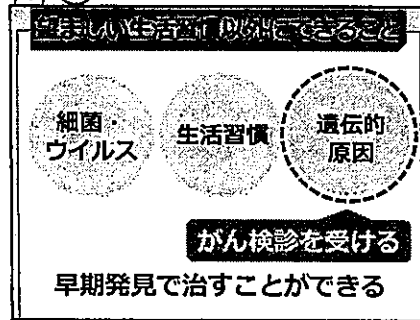
中学校 (案) 3/5

17. (19)



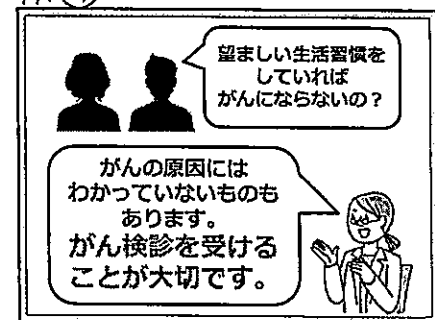
No. 55

18. (20)



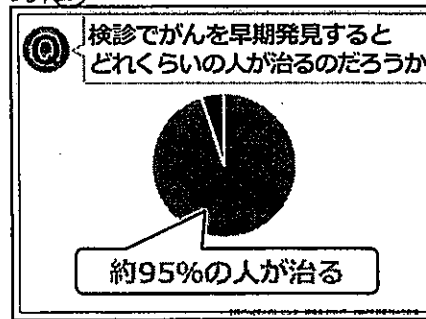
No. 56

19. (21)



No. 54

20. (22)



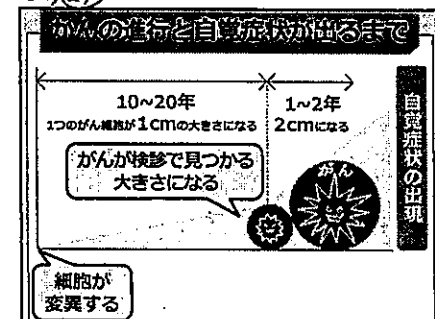
No. 61

21. (23)



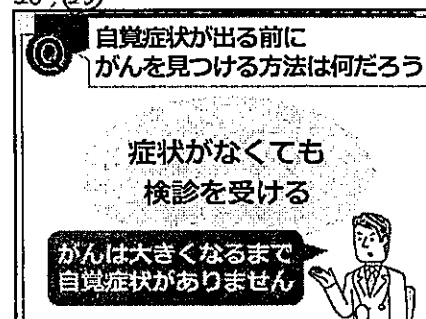
No. 37

22. (24)



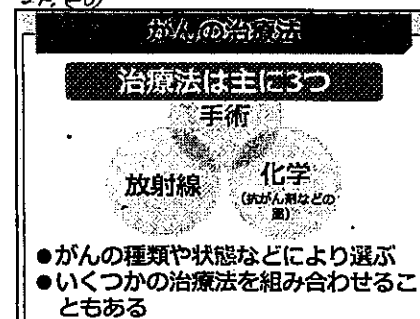
No. 38

23. (25)



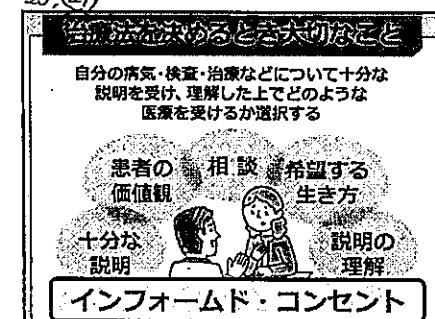
No. 39

24. (26)



No. 71

25. (27)



No. 73

中学校 (案) 4/5

26, 28

治療方針は
医師によって異なることがある

セカンド・オピニオン

別の医師の意見を
聞いてもよい

治療法を理解し
自分で選ぶという意識が大切

No. 74

27, 29

科学的根拠に基づいた観点で、
現在利用できる最良の治療である
ことが示され、ある状態の一般的
な患者さんに行われることが推奨
される治療をいいます

国立がん研究センター がん情報サービス 用語集より作成

No. 80

28, 30

がんの治療ではどのような
問題が起こるのだろう

●体が痛くてつらい
●将来のことが不安で
寝れない
●治療の費用が心配 など

体の痛み 心の痛み

No. 81

29, 31

がんの治療中に支援が
必要な人は誰だろう

体の痛み 心の痛み

がん患者だけでなく
支える家族も
支援が必要

No. 82

30, 32

それぞれの分野の専門家が
チームで患者とその家族を支援

治療法の選択を助ける 痛みを取り除く
経済面の支援をする 日常生活を取り戻す
ソーシャルワーカー 看護師 医師 薬剤師 理学療法士 リハビリ専門職

No. 87

31, 33

ふりかえり①

☑ 異常な細胞のかたまりの中で
悪性のものをがんという。

☑ がんの原因には生活習慣や
ウイルスなどがある。

☑ 早く見つけるには、
検診を受けることが大切。

No. 17, 18, 67

32, 34

ふりかえり②

☑ がんの予防に大切なことは、
禁煙、節酒、バランスの
よい食事、適度な運動、
適正体重の維持。

☑ 治療法を理解し自分で
選ぶという意識が大切。

No. 58, 76

35

がん患者は何を望み
何を求めているのだろう

事例2

乳がんで胸に大きな傷が残り、
自信を失って閉じこもりがちに
なっていた。
患者の会に入って同じ乳がんの仲間と出会い、
貸切で温泉に入ることができるようになった。
好きだった旅行を楽しむことができるようになった。
これからは生き生きと自分らしく生きたいと
思っている。

No. 97

36

がん患者の「生活の質」

一人一人の生き方が
異なるように
がんへの向き合い方も
人それぞれ

自分らしく生きられるよう
生活の質 (クオリティ・オブ・ライフ)
の維持・向上が大切

No. 98

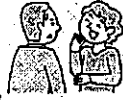
37



がん患者とどのように
接すればよいのだろう

事例2

友人にがんになったことを
伝えたとき、「生活習慣が
悪いからがんになったんだ」
と、あっけらかんと言われました。
わたしは共働きで、妻と交代で食事を作っていまし
たが、常にバランスの良い食事を心がけていたつも
りです。妻も責められているような気持ちになり、
悲しくなりました。がんに対する誤解や決めつけが
なくなればと思います。



（患者手記より）

No. 102

40

ふりかえり

✓ 家族や友人に対して、がん患者
はさまざまな願いをもっている。



No. 108

38



がん患者とどのように
接すればよいのだろう

事例3

親戚にがんになったことを
伝えたとき、「かわいそう」と
泣き出されてしまいました。
心配してくれてありがたいという
気持ちはあったものの、親戚の態度に、もうわたし
は治らないのではないかと、死を待つしかないのでは
ないかという気持ちになり落ち込みました。



（患者手記より）

No. 103

39

家族や友人に
これまで通り
接してほしい

がんを
正しく理解
してほしい



がん患者には
さまざまな願いがある

No. 104

高等学校(案) 1/6

今、みなさんの中に、大切な家族や友達が、「がん」にかかっている人がいるかもしれません。

つらくなったり、かなしい気持ちになったりすることがあるでしょう。

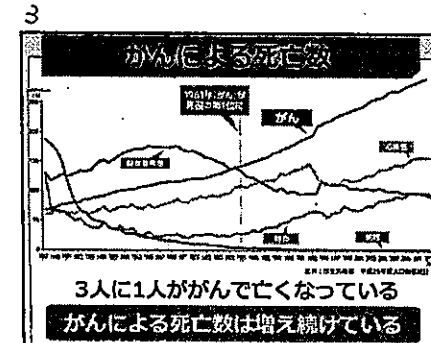
そのときは、がまんせずに、近くの先生に声をかけましょう。

No. 1

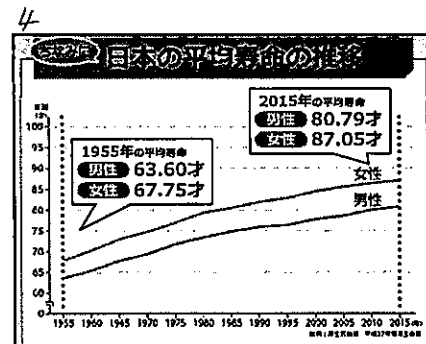
がんになる人の割合

2人に1人

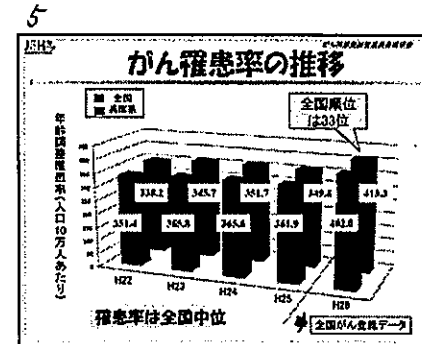
No. 22



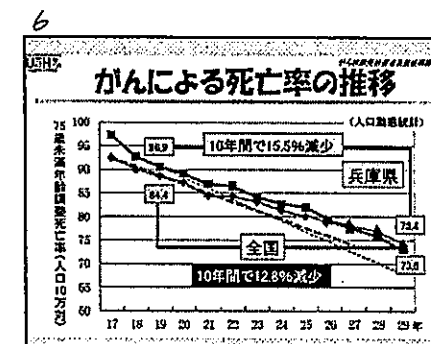
No. 23



No. 25



No. 112



No. 113

長生きとがんとの関わり

長生きする

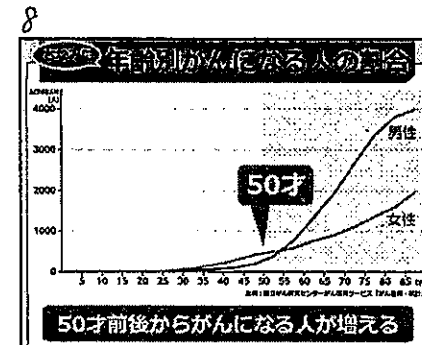
細胞分裂の回数が増える

細胞が変異する可能性が高まる

細胞を正常に保つ働きが低下しはじめる

がんは誰かがなりうる病気

No. 27



No. 28

がんのしくみ

わたしたちの体の細胞は毎日分裂し新しくなっている 約37兆個

細胞分裂するとき変異し悪性化したものが「がん」

※変異しても細胞が正常に戻ることがある。悪性化した細胞は増殖し続ける。

No. 24

10

細胞が分裂するすべての臓器に
がんができる可能性がある

細胞が分裂するときの変異により
がん細胞ができるから

No. 34

11

① がんのできないところはあるのだろうか

心臓の筋肉 (心筋)

心臓の筋肉はほとんど細胞分裂しない
細胞の変異が起こらない
がん細胞ができにくい

No. 35

12

主ながんの種類と特徴など

がんの名称	特徴など
胃がん	ピロリ菌の感染が原因にかかっていると考えられている。
大腸がん	運動不足や肥満、大量の飲酒などが発病に関連している。
肺がん	我が国では死亡数が多い。特に男性に多い。最大の原因は喫煙であり、たばこを吸う人が肺がんにかかる確率は、男性では吸わない人の4～5倍にもなる。
肝臓がん	主な原因はB型肝炎ウイルスの感染である。大量の飲酒の習慣も、肝臓がんになるおそれがある。

No. 44

13

主ながんの種類と特徴など

がんの名称	特徴など
乳がん	・乳房内にがんのかたまりができる。 ・しこりや皮膚のくぼみなどの有無をチェックすることが重要。
子宮頸がん 子宮体がん	・子宮のがんには、子宮の入口(頸部)にできるものと、子宮本体(体部)にできるものがある。 ・頸部にできるものでは、初期の段階では症状がないことが多い。特に症状がなくても、20歳を過ぎたら、2年に1回子宮頸がんの検診を受けることが勧められている。
前立腺がん	・診断方法が普及したことで、前立腺がんと診断される人が増加している。 ・かなり進行した場合でも適切に対処すれば、通常の生活を送ることが出来る。

No. 45

14

主ながんの原因

細菌・ウイルス 生活習慣 遺伝的原因

生活習慣は自分で
気をつけることができる

No. 50

15

① どのような生活を送ればよいのだろう

節酒 禁煙 適正体重の維持

バランスのよい食事 適度な運動

望ましい生活習慣により
がんになる危険性を減らすことができる

No. 51

16

② がんの危険性を減らすためのアドバイスを考えよう

生活習慣ががんの予防に大事と知っていますよ!

でも、体がじょうぶだから気にしてません。忙しくて、それどころじゃありませんよ...

●細胞の変異は毎日起こっている
●がん細胞は10～20年かけて成長する

No. 52

17

がんの危険性を減らすためのアドバイス

細胞の変異は常に起こっており、長い時間をかけてがんになります。

若いころからの望ましい生活習慣が大切です。

No. 53

18

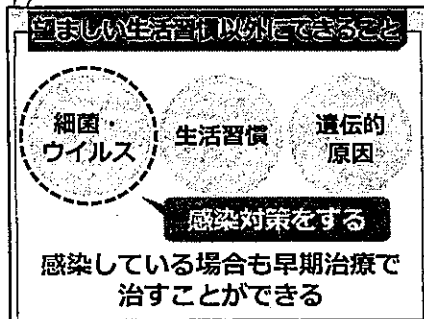
望ましい生活習慣をしていればがんにならないの?

がんの原因にはわかっていないものもあります。がん検診を受けることが大切です。

No. 54

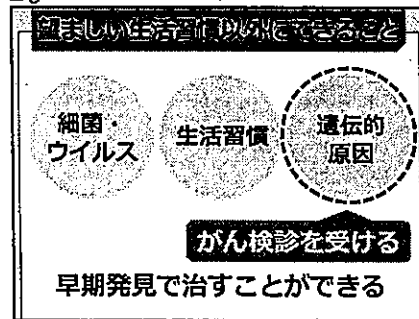
高等学校(案) $\frac{3}{6}$

19



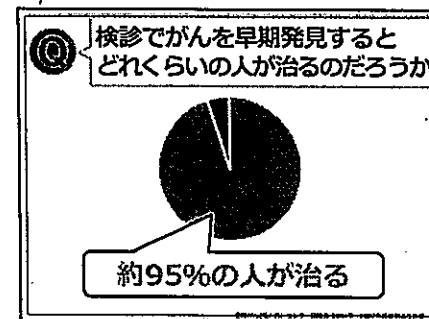
No. 55

20



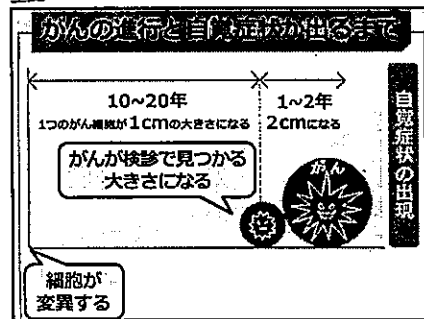
No. 56

21



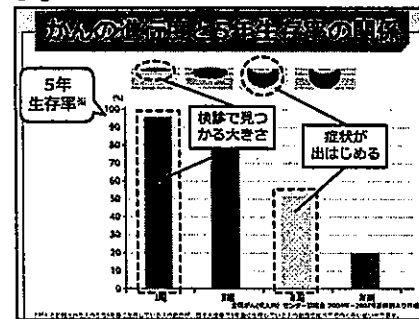
No. 61

22



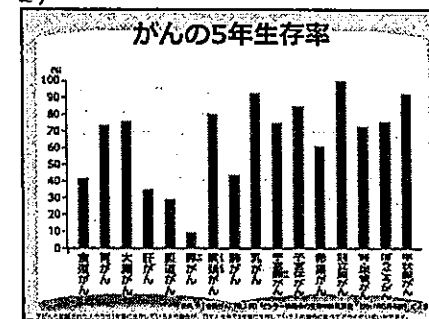
No. 38

23



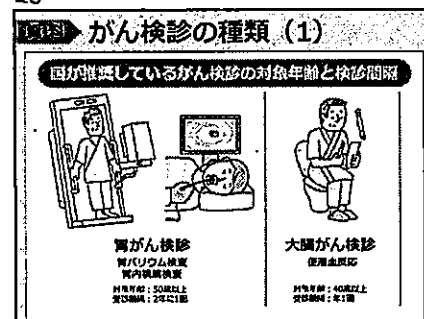
No. 62

24



No. 48

25



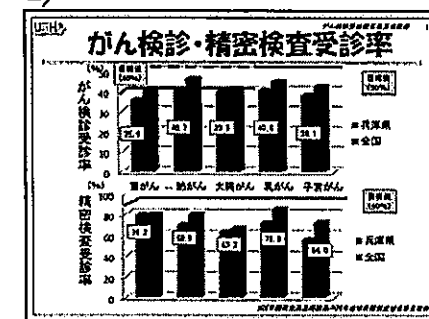
No. 68

26



No. 69

27



No. 114

28

がんの治療法

治療法は主に3つ

手術

放射線

化学
(抗がん剤などの薬)

- がんの種類や状態などにより選ぶ
- いくつかの治療法を組み合わせることもある

No. 71

29

がんの治療法

手術 手術でがんを取り除く

特徴

- 早期のがんなら数日の入院または通院で治療できる
- 体への負担は大きいですが、内視鏡を用いた手術など、負担を軽減する方法も普及してきている



No. 77

30

がんの治療法

放射線 放射線でがんの細胞を死滅させる

特徴

- 通院で治療できる
- 体への負担が比較的小さい



No. 78

31

がんの治療法

化学 抗がん剤などの薬によりがん細胞の増殖を抑える

特徴

- 副作用の可能性もあるが、最近では、通院で治療できる場合も増えつつある



No. 79

32

治療法を決めるとき大切なこと

自分の病気・検査・治療などについて十分な説明を受け、理解した上でどのような医療を受けるか選択する

患者の価値観 相談 希望する生き方

十分な説明 説明の理解

インフォームド・コンセント

No. 73

33

治療方針は医師によって異なることがある

セカンド・オピニオン

別の医師の意見を聞いてもよい

治療法を理解し自分で選ぶという意識が大切

No. 74

34

標準治療とは

科学的根拠に基づいた観点で、現在利用できる最良の治療であることが示され、ある状態の一般的な患者さんに行われることが推奨される治療をいいます

国立がん研究センター がん情報サービス 用語集より作成

No. 80

35

がんの治療ではどのような問題が起こるのだろう

- 体が痛くてつらい
- 将来のことが不安で隠れない
- 治療の費用が心配 など

体の痛み 心の痛み

No. 81

36

がんの治療中に支援が必要な人は誰だろう

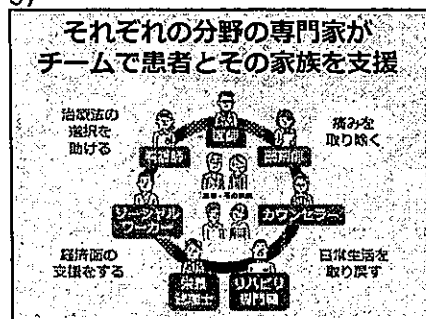
体の痛み 心の痛み

がん患者だけでなく支える家族も支援が必要



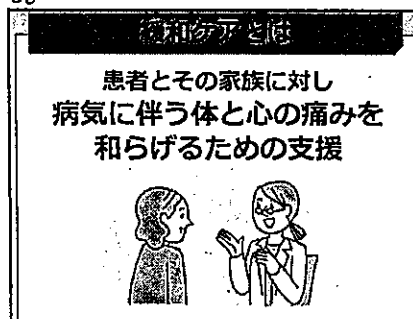
No. 82

37



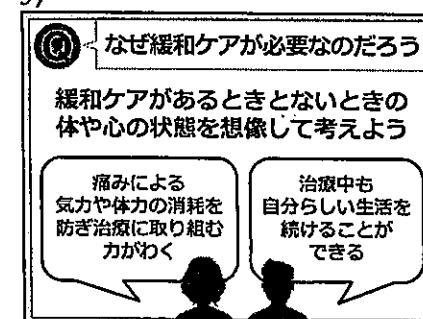
No. 87

38



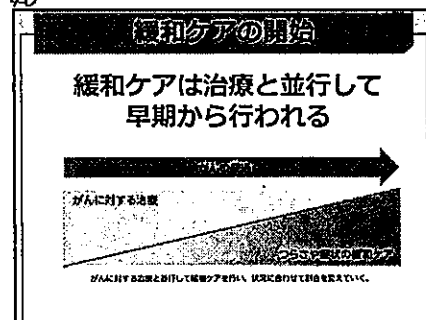
No. 89

39



No. 91

40



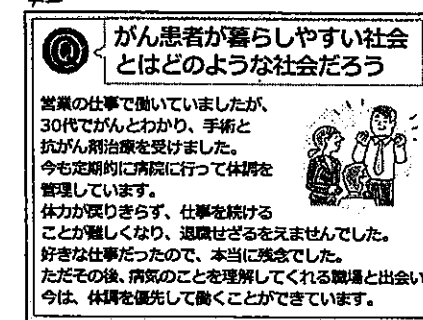
No. 92

41



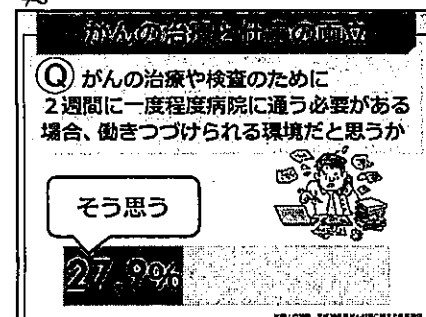
No. 104

42



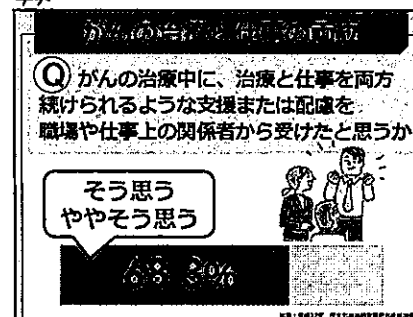
No. 106

43



No. 110

44



No. 111

45



No. 107

46

ふりかえり①

- ☑ がんの予防に大切なことは、禁煙、節酒、バランスのよい食事、適度な運動、適正体重の維持。
- ☑ 感染検査やがん検診を受けること。

ポイント

- ・症状がなくても検診を受ける
- ・症状がある場合は速やかに病院へ

No. 58, 59, 42

47

ふりかえり②

- ☑ 治療法は主に3つある。(手術、放射線、化学)
- ☑ 治療法を理解し自分で選ぶという意識が大切。

No. 75, 76

48

ふりかえり③

- ☑ がん患者とその家族に対して苦痛を和らげるよう支援することが大切。
- ☑ すべての人ががんについて正しく理解することが、だれもが暮らしやすい社会につながる。

No. 93, 109